



2019年度

地域住民の防災力向上

～平時からの取組～

近年、地震や記録的な豪雨により、全国各地で甚大な被害が発生しています。耐震や治水対策といったハード対策は行政の最も重要な施策の一つですが、一旦大災害が発生すると、行政ができることには限界があり、自助と共助が非常に重要です。この研修では、地域住民の防災力向上のために、平時から行政がどのような取組を進めていくか、防災教育も含めて考えます。

研修の ポイント

- ① 講義や事例から、防災教育の必要性やまちづくりのあり方について理解を深めます。
- ② 演習をとおして、平時からできる減災活動について考え、その手法を学びます。

開催要領

日程

2019年5月21日(火)～5月23日(木) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村等の消防・防災に関わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

40人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。

なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

9,850円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。

なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

2019年4月9日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp 【ホームページ】 <https://www.jiam.jp>

2019年

5月

21日(火)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～15:35

**講義 地域における防災体制の構築に向けて
～災害のリスクコミュニケーション戦略～**

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授 矢守 克也 氏

自然災害から命を守るためには、住民自らが地域の危険箇所を認識し、平時から災害に対する心構えを持つことが重要です。

本研修の基調講義として、住民主導での防災体制構築を促すための、住民と行政との効果的なリスクコミュニケーションのあり方について、各地での実践事例を交えながらお話しいたします。

15:50～17:00

事例紹介 FIG-aなよろ 住民の主体性を引き出す取組

北海道名寄市 総務部 参事(防災担当)付主幹 兼 企画課主幹 池島 正宏 氏

FIG-aなよろ「課題を見つける避難訓練」は、避難における課題の発見(気づき)による地区住民の避難能力向上をねらいとし、想定最大規模の降雨(1/1,000確率)を想定した避難訓練(1次避難・2次避難)を体験する他、浸水想定・浸水継続時間などの研修を行い、気づいた課題を災害時に生かす取組です。

北海道名寄市における防災力向上に向けた取組の実例をご紹介します。

17:30～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

2019年

5月

22日(水)

9:25～12:00

講義 地域からはじめる「防災“も”まちづくり」のすすめ方

東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター 准教授 加藤 孝明 氏

地域の防災力向上のためには、バランスのとれた自助・共助・公助の実現が重要です。地域から進める「防災まちづくり」のあり方についてお話しいたします。

13:00～17:00

演習 「災害図上訓練DIG」で防災訓練

一般財団法人 消防防災科学センター 研究開発部 主任研究員 小松 幸夫 氏

起こりうる災害像をイメージしながら地域の特徴や課題を地図から読み取る「災害図上訓練DIG」を実際に体験することを通じてその手法を学びます。

2019年

5月

23日(木)

9:00～12:00

演習 ゲーム型教材クロスロードで防災意識を高める

神戸クロスロード研究会

阪神・淡路大震災における神戸市職員の災害対応についての研究から生まれたゲーム型教材「クロスロード」。この演習では、ゲームを通して、災害対応の判断の疑似体験やグループにおける意見交換等により、日頃から災害時の対応を想定しておくことの重要性について考えます。

12:00～12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。